第1部：シンポジウム

地域から目指す自然エネルギー100%のまちづくり

「脱炭素化に向かう世界と日本の課題
平田仁子(気候ネットワーク理事)

自然エネルギー100%へ向かう世界の最新動向
松原弘直(ISEP主席研究員)

「自然エネルギー100%大学～千葉商科大学の取り組み」
原科幸彦(千葉商科大学学長)

13:30～

第2部：上映会

「おだやかな革命」

(100分)

無料
全席自由

東日本大震災をきっかけにエネルギー政策が大きく見直され、日本国内でも各地域で自然エネルギーへの取り組みが広まっています。千葉商科大学では自然エネルギー 100% 大学の実現を宣言し、その第一段階をすでに達成しています。世界規模の気候変動を招いている地球温暖化問題に対してはパリ協定のような国際的な動きと共に地域での取り組みが重要です。ゆっくりとしかし確実に広がる地域での自然エネルギーによる人々の営みが描かれたドキュメンタリー映画「おだやかな革命」には、そのヒントがあります。

2019年6月8日(土) 13:30～16:45

市川市文化会館　大会議室(B1F)

JR本八幡駅南口より徒歩10分

定員200名　事前予約はこちら
⇒ http://ur0.work/WZ04

※詳細は裏面をご覧ください。

主　催：自然エネルギーを広めるネットワークちば(略称：リネットちば)　https://www.renet-chiba.net/
共　催：千葉商科大学、自然エネルギー100%プラットフォーム(CAN-Japan)
協　力：いちかわ電力コミュニティー、やちよ自然エネルギー市民協議会

※本イベントは独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催します。

Silent Revolution

おだやかな革命

～これからの暮らしを巡る物語～

お申込みはこちらから

⇒ http://ur0.work/WZ04

メールまたは FAX ご利用の方は
お名前と人数、連絡先をご記入ください。
mail：renetchiba@gmail.com ／ FAX：04-7135-8102

お問い合わせ：080-3077-4200 (NPO支援センターちば)

自分は、これで幸せかという問いが
ちゃんと真ん中にある
これは革命と言ってもいい。
でも、今まで多くの人が想像してきた
革命とは全然違うものなのではないか

辻 信一（文化人類学者）

Story

原発事故後に福島県の酒蔵の当主が立ち上げた会津電力。放射能汚染によって居住制限区域となった飯館村で畜産農家が立ち上げた飯館電力。岐阜県郡上市の石徹白、集落の存続のために 100 世帯全戸が出資をした小水力発電。さらに首都圏の消費者と地方の農家、食品加工業者が連携して進めている秋田県にかほ市の市民風車。自主自立を目指し、森林資源を生かしたビジネスを立ち上げる岡山県西粟倉村の取り組み。都市生活者、地方への移住者、被災者、それぞれがエネルギー自治を目指すことで、お金やモノだけでない、生きがい、喜びに満ちた暮らしの風景が生まれている。成長・拡大を求め続けてきた現代社会が見失った、これからの時代の「豊かさ」を静かに問いかける物語。

秋田 Akita

日本海からの風が吹く、にかほ市にたつ大きな風車。生活クラブ生協が、この風車を起点にしたコミュニティづくりを続けている。地域にあたりまえに吹く風は、首都圏と地域の作り手を繋いでいった。

岡山 Okayama

地域の間伐材を使って若者が起業・移住する 1500 人の西粟倉村。見向きもされなかった森林は、地域の温泉施設の熱源に、美しい家具に、そして地域のつながりの中心に。

福島 Fukushima

福島県には、震災後に２つの電力会社が誕生した。立ち上げたのは、原発事故により全村避難になった飯館村の元畜産農家と、綺麗な水で有名な喜多方市の酒蔵の当主。故郷を次の世代に繋いでいくための、二人の決意、葛藤とは。

岐阜 Gifu

郡上市にある約100世帯の小さな集落、石徹白。伝統的な文化や暮らしを大切にする移住者を起点に、地域に残る農業用水路で小水力発電事業が立ち上がる。地域の価値に気付き始めた地元住民との、懐かしくて新しい未来づくりが始まっていく。

Introduction

自然と向き合い、人と向き合い、地域と向き合いながら、これからの暮らしを自らの手で作っていこうとする人たちがいる。そんな彼らの、穏やかな、そして力強い挑戦の姿を追ったのは、前作『よみがえりのレシピ』で、高度経済成長期に見捨てられてしまった伝統野菜のタネをめぐる物語を描いた渡辺智史監督。各地で始まる「暮らしの選択」、その先にある未来の風景を見据えながら、懐かしくも新しい時代への入口へと観客を誘う。

この映画には、静かに力強く、ふつふつと湧き上がってくる力があります。
その力はあまりにも美しく、切なく、愛に満ちていて、胸が締め付けられそうにもなります。
でも、そこに「光」を感じます。パンドラの箱に残った「希望」のように。

——— 鶴田真由（女優）

ナレーション：鶴田真由｜監督・編集：渡辺智史｜撮影：佐藤広一｜音楽：鈴木治行｜MA：中野坂上スタジオ｜協力：高橋真樹
2017 年 / 日本 /100 分 / カラー /DCP・Blu-ray｜配給・製作：いでは堂 ｜特別協賛：一般財団法人 ふくしま自然エネルギー基金
取材協力　会津電力、飯館電力、石徹白農業用水農業協同組合、生活クラブ生活協同組合、西粟倉・森の学校、村楽エナジー、枝廣淳子、辻信一、広井良典 ほか
《映画「おだやかな革命」公式 HP》http://odayaka-kakumei.com　@odayakakakumei